

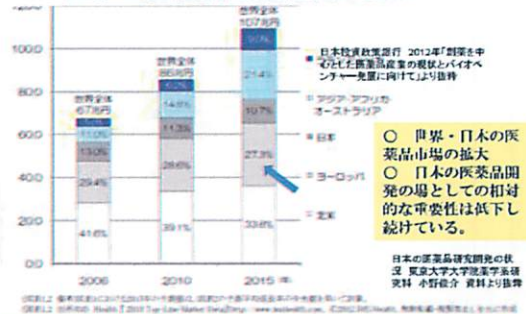
平成26年3月21日 10:05-11:35医療政策セミナー



創薬研究のトレンドと医療技術評価の実際

日本病院薬剤師会常務理事・医療政策部 佐々木 均

世界の医薬品産業規模の推移

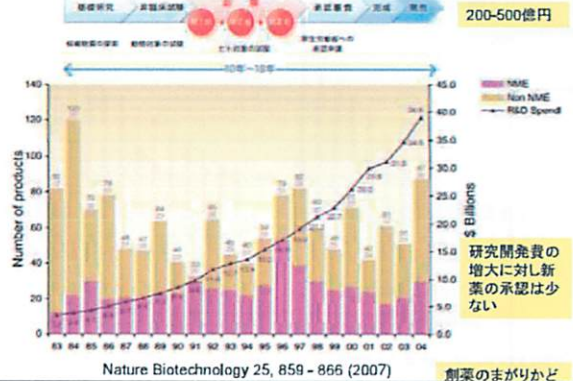


●世界の各国は、繁栄を享受するために、21世紀の初めには単なる「技術開発政策」、「人材育成政策」等の狭い枠を超えた総合的な「イノベーション政策（戦略）」の構築へ大きくシフトした。

医薬品開発の世界的動向



研究開発費の増大、新薬の減少

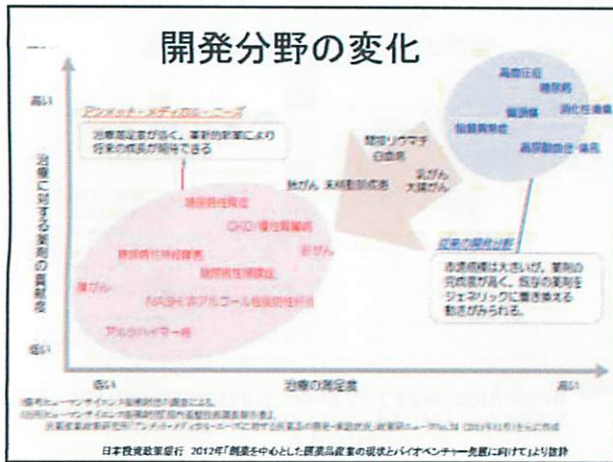


創薬手法の変化



コンパニオン医薬の拡大

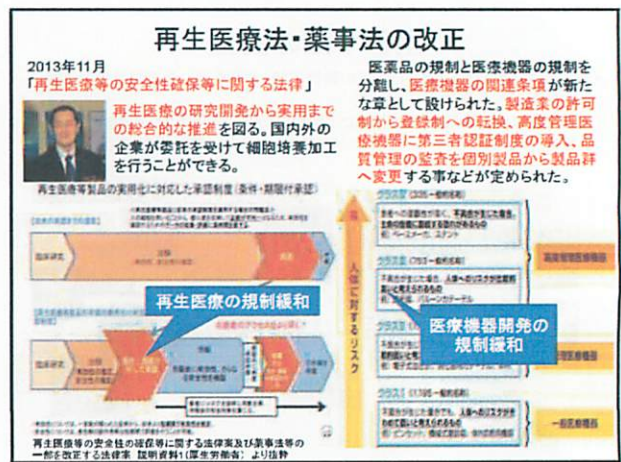
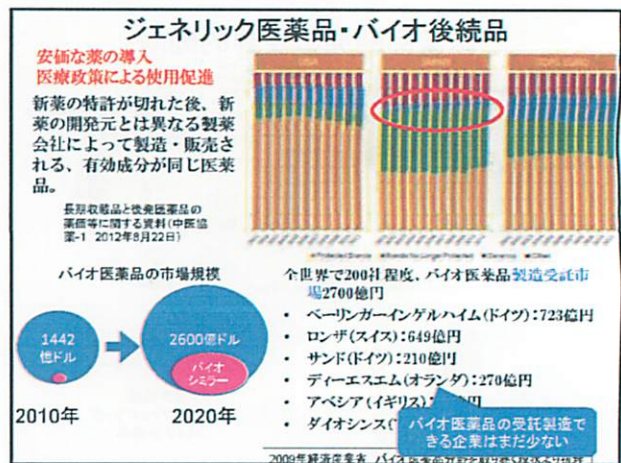
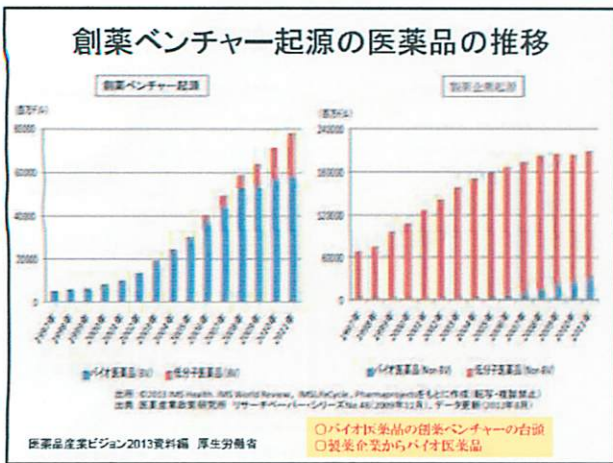


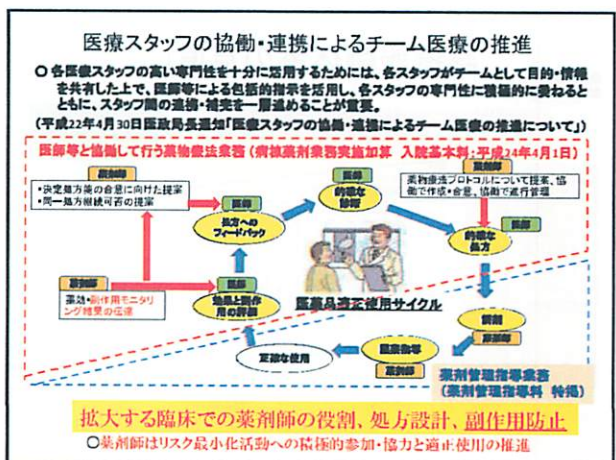
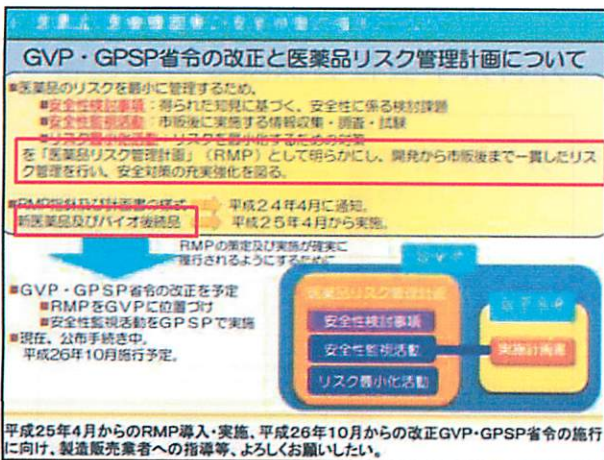
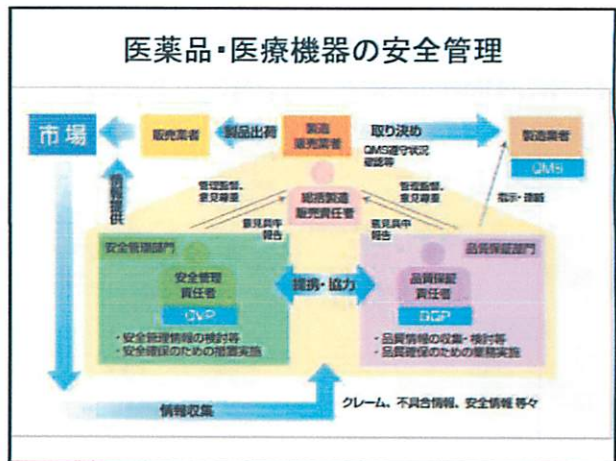
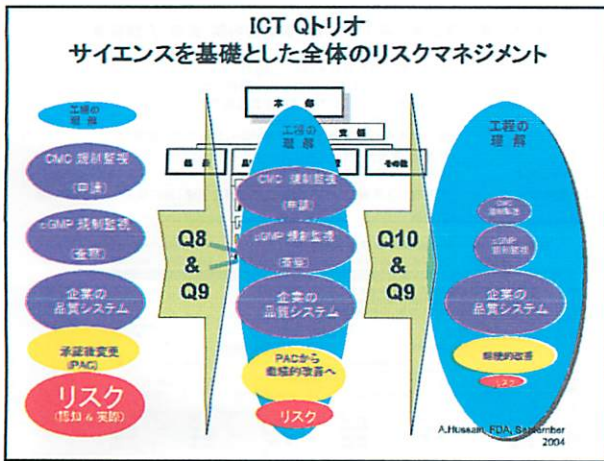
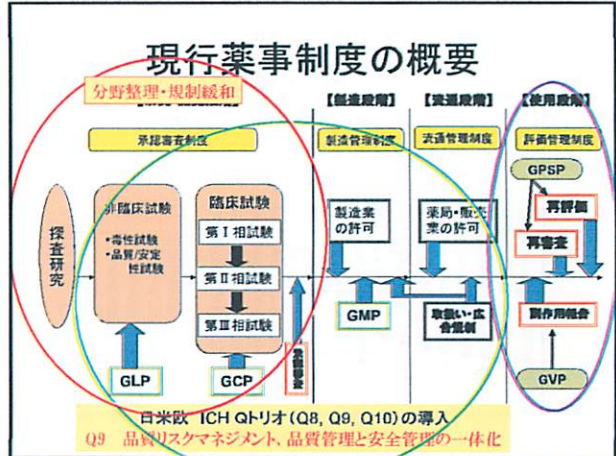
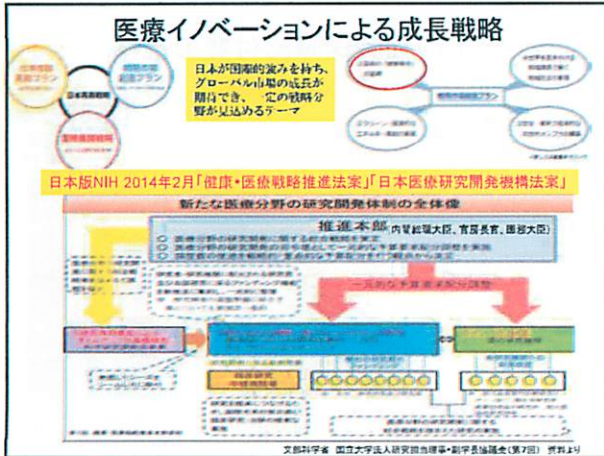


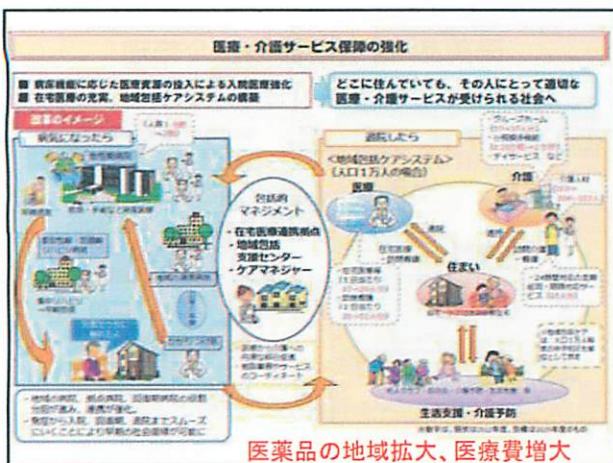
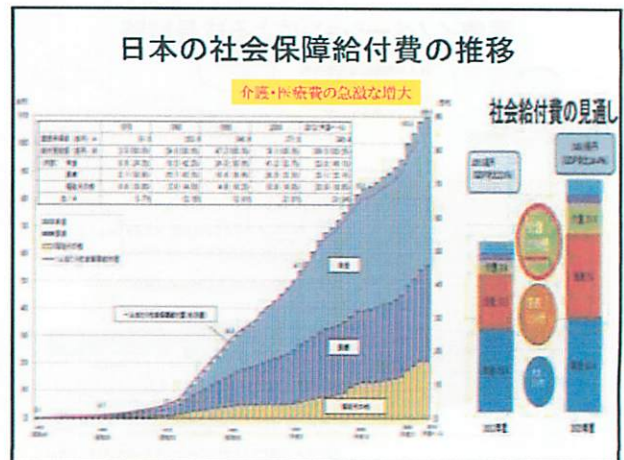
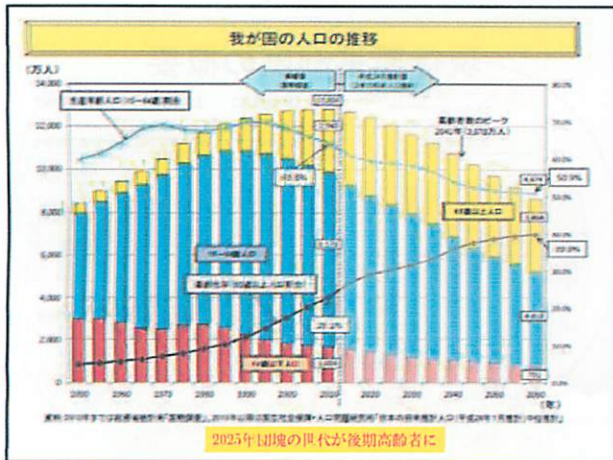
世界売上上位30品目 (2011)

品名	メーカー	売上 (億円)	増減 (%)
1 阿司匹林	アサヒ	10,260	▲3%
2 アスピリン	アサヒ	8,729	▲1%
3 トラマドール	アサヒ	8,308	▲2%
4 トラマドール	アサヒ	8,232	▲2%
5 トラマドール	アサヒ	7,174	▲1%
6 トラマドール	アサヒ	7,050	▲1%
7 トラマドール	アサヒ	7,000	▲2%
8 トラマドール	アサヒ	6,894	▲3%
9 トラマドール	アサヒ	6,287	▲2%
10 トラマドール	アサヒ	5,954	▲2%
11 トラマドール	アサヒ	5,870	▲2%
12 トラマドール	アサヒ	5,789	▲2%
13 トラマドール	アサヒ	5,728	▲2%
14 トラマドール	アサヒ	5,728	▲2%
15 トラマドール	アサヒ	5,690	▲2%
16 トラマドール	アサヒ	5,690	▲2%
17 トラマドール	アサヒ	5,690	▲2%
18 トラマドール	アサヒ	5,690	▲2%
19 トラマドール	アサヒ	5,690	▲2%
20 トラマドール	アサヒ	5,690	▲2%
21 トラマドール	アサヒ	5,690	▲2%
22 トラマドール	アサヒ	5,690	▲2%
23 トラマドール	アサヒ	5,690	▲2%
24 トラマドール	アサヒ	5,690	▲2%
25 トラマドール	アサヒ	5,690	▲2%
26 トラマドール	アサヒ	5,690	▲2%
27 トラマドール	アサヒ	5,690	▲2%
28 トラマドール	アサヒ	5,690	▲2%
29 トラマドール	アサヒ	5,690	▲2%
30 トラマドール	アサヒ	5,690	▲2%

医薬品産業ビジョン2013資料編 厚生労働省







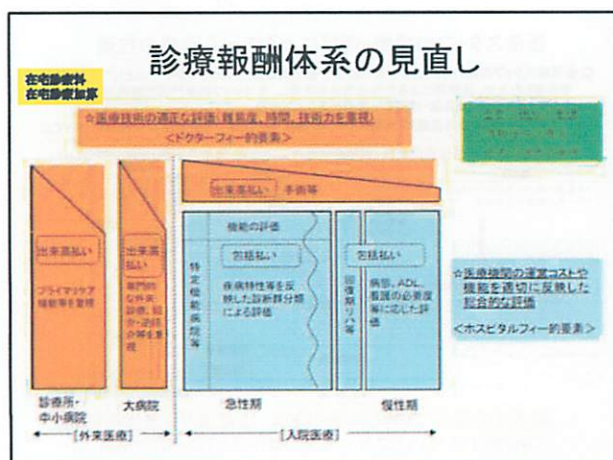
社会保障制度改革プログラム(第2次安倍内閣)医療・介護関連

目標	施策
医療	<ul style="list-style-type: none"> 70～74歳の自己負担を1割から2割に 紹介状なしの大病院受診患者に定額自己負担 高額療養費の自己負担限度額を負担能力に応じて見直し 国民健康保険料の限度額引き上げ 国民健康保険料の運営主体を市町村から都道府県に移管
介護	<ul style="list-style-type: none"> 軽度の「要支援」者をサービス対象から切り離す 高所得者の利用者負担引き上げ
医療提供体制	<ul style="list-style-type: none"> 病院増設を再編し、在宅医療・在宅介護を推進(2017年度までに順次実施)
財源	<ul style="list-style-type: none"> 消費税

診療報酬における社会保障改革の実現に向けたスケジュール(粗いイメージ)

方向性	2012年	2014年	2016年	2018年	2020年	2022年	2024年	2025年
1 医療報酬の適正な水準と適正な増減								
2 医療報酬と在宅・介護報酬との連携強化								
3 医療提供が適切な地域に配置した医療提供体制の構築								

医療・介護のありかへ必要



外科系学会社会保険委員会連合

外保連試案 2014

第1編 手術試案 第3編 生体検査試案
第2編 処置試案 第4編 麻酔試案

薬学会から提出した技術評価項目

I.平成25年度第一回医療技術評価分科会での検討結果

①幅広い観点から評価が必要な技術とされた項目

申請技術名	技術内容
外来化学療法加算	外来の悪性腫瘍患者に対して、薬剤師が薬事指導・薬学的管理を実施した場合の各外来化学療法加算の点数を算定
細菌製剤処置料1	閉鎖式接続器具を用いた抗がん薬の無菌製剤も無菌製剤処置料1が算定できるように対象を拡大
PET検査における薬剤師の評価	PET薬剤を院内調剤する場合には、「PET薬剤の取扱」に關し、専門のお話及び経験を有する専任の薬剤師の配置を施設基準に追加する

②エビデンスが不十分と考えられる技術とされた項目

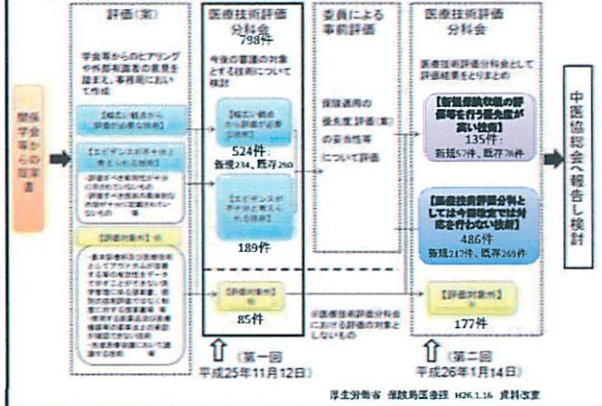
調剤科（注射剤調剤）、調剤科（静注、点滴準備、受付け調剤科又は調剤科の増設）、調剤技術基本科（外来患者に対する薬学的管理の評価）、調剤技術基本科（注射剤調剤）、調剤技術基本科（安定剤の投与）、調剤技術基本科（院内薬剤師の増設）、調剤技術基本科、一部薬剤師加算、調剤技術基本科（在宅加算）、調剤技術基本科2（外来患者の拡大）

すべて在宅処方職技術

③医療技術評価における評価の対象とならない技術とされた項目

特定薬剤調剤評価加算、薬剤師の評価

医療技術評価分科会における今後の評価の進め方について



***** M E M O *****